

鶴見大学紀要

第 58 号

第 1 部 日本語・日本文学編

目 次

『柳葉和歌集』の概要……………	中川博夫	(1)
源親行の和歌注解補遺……………	中川博夫	(31)
僧正公朝の和歌注釈補遺……………	中川博夫	(39)
叡山文庫本『尊円親王詠法華経百首』翻刻 ——付、校異・他出一覧——……………	田口暢之	(59)
恒川了廬旧蔵書（西尾市岩瀬文庫所蔵分） ——貼紙「寛政九年山科貞松院七十七才改之」——……………	松本文子	(113)
塚原洪柿園と「烈女」の劇化 ——小説「藤江」と歌舞伎『緋桜』——……………	神林尚子	(199)
『呂氏春秋』の統治論に見える墨家説……………	田中智幸	(227)
W.G. アストン『日本文語文典』初版 訳注稿 (1)……………	遠藤佳那子	(左 8)
鶴見大学紀要投稿規定……………		(左 4)
〔彙 報〕……………	教員研究業績一覧	(左 1)

鶴 見 大 学

2021 年 3 月（令和 3 年 3 月）

THE BULLETIN OF TSURUMI UNIVERSITY

VOLUME 58 PART 1

STUDIES IN JAPANESE LANGUAGE AND
LITERATURE

CONTENTS

NAKAGAWA Hiroo : Study of the *Ryuyō Wakashū*

NAKAGAWA Hiroo : Addendum to the study of Minamoto Chikayuki's waka poems

NAKAGAWA Hiroo : Addendum to the study of Kocho's waka poems

TAGUTI Nobuyuki : The *Sonenshinno-Eihokeyohyakushu* owned by Eizan-bunko draft

MATSUMOTO Ayako :

A Study of Tsunekawa Ryoro's Collection of Books in Iwase Bunko Library,
Nishio City : Ex-Libris, "Verified by Yamashina Teishoin, 77 yrs old, Kansei Year 9"

KAMBAYASHI Naoko :

Dramatizing the Life of Retsu-jo Ofuji by Tsukahara Jyūshien :

The Novel "Fujie" and the Kabuki *Hizakura* in the late Meiji Period

TANAKA Tomoyuki :

The Mo chia thought in the Governance theory of the "Lu shi chun chu"

ENDO Kanako : A Japanese Translation with Notes:

A Grammar of thg Japanese Witten Language (1st ed.) by W.G. Aston (1)

MARCH 2021

鶴見大学紀要

第 58 号

第 1 部 日本語・日本文学編

鶴 見 大 学

鶴見大学紀要投稿規程

(趣旨)

第1条 鶴見大学（以下「大学」という。）および鶴見大学短期大学部（以下「短期大学部」という。）において研究または教育に従事する者の成果を紀要に公表することについて定めるものである。

(投稿資格)

第2条 紀要に投稿できる者は、原則として、大学および短期大学部において研究または教育に従事する者およびこれと共同で研究に従事する者とする。

(投稿原稿)

第3条 原稿は、未刊行のものに限る。定期刊行物（学術雑誌、商業雑誌、大学・研究所紀要など）や単行本として既刊、あるいは、これらに投稿中の原稿は本紀要に投稿できない。ただし、学会発表抄録や科学研究費などの研究報告書はその限りではない。

(紀要の部編)

第4条 紀要の部編は4種類とし、その邦文及び欧文の標題は次のとおりとする。

- 一 鶴見大学紀要 第1部（日本語・日本文学編）
THE BULLETIN OF TSURUMI UNIVERSITY PART 1
(STUDIES IN JAPANESE LANGUAGE AND LITERATURE)
- 二 鶴見大学紀要 第2部（外国語・外国文学編）
THE BULLETIN OF TSURUMI UNIVERSITY PART 2
(STUDIES IN FOREIGN LANGUAGES AND LITERATURE)
- 三 鶴見大学紀要 第3部（保育・歯科衛生編）
THE BULLETIN OF TSURUMI UNIVERSITY PART 3

(STUDIES IN INFANT EDUCATION AND DENTAL
HYGIENE)

四 鶴見大学紀要 第4部(人文・社会・自然科学編)

THE BULLETIN OF TSURUMI UNIVERSITY PART 4
(STUDIES IN HUMANITIES, SOCIAL AND NATURAL
SCIENCES)

(発行の回数)

第5条 紀要は、年度内に1回発行することを原則とし、その時期は年度末3月とする。

(提出原稿)

第6条 原稿の作成は、紀要刊行内規で定められた投稿要綱に従うものとする。

(原稿の提出先)

第7条 原稿は、投稿する部編の紀要委員に提出するものとする。

(原稿の提出締切日)

第8条 原稿の提出締切日は、部編により別に定める。

(編集)

第9条 編集は、紀要委員会が行うものとする。

(別刷)

第10条 50部を超える別刷の費用は、著者が負担するものとする。

(著作権)

第11条 紀要の公開にともなう、複製権および公衆送信権に関わる著作権の行使は、原則として大学および短期大学部に帰属する。ただし、著者が自分の論文等を利用することは差し支えない。

二 論文等の全部あるいは大部分を他の著作物等に利用する場合には、その旨を大学および短期大学部に申し出ると共に、出典を明記する。また、一部分を利用する場合にも、文献あるいは図説の下に出典を明記する。

三 掲載された論文等の執筆内容が第三者の著作権を侵害するなどの

鶴見大学紀要投稿規程

指摘がなされた場合には、著者がその責任を負う。

附 則 この規程は、平成21年4月1日から施行する。

〔彙報〕

教員研究業績一覧（2020・1～2020・12）

遠藤 佳那子

【口頭発表】

「林圀雄「一段の活」に属する用言」

第124回国語語彙史研究会（オンライン開催、2020年12月5日）

神林 尚子

【論文】

- ・「『初緑黄金笠松』と『神稻黄金笠松』
—「鬼神のお松」「神道德次郎」もの読本の系譜」
（『読本研究新集』第11集、2020年2月）
- ・「講談と『近古実録』にみる「鬼神のお松」
—松林伯円作の継承と明治の「実録」」
（『鶴見大学紀要』57号、2020年3月）
- ・「合巻における「鬼神のお松」像の変遷
—「牙のおお」の影響と後日譚の創出」
（『鶴見日本文学』24号、2020年3月）
- ・「弘化・嘉永期の戯作と「お竹大日」伝承
—『黄金花桜木双紙』と『応現於竹物語』」
（『国文鶴見』54号、2020年3月）

【その他】

- ・【コラム】「ちょんがれ節」
小考——浪花節の一祖流とその特質」
（真鍋昌賢編『浪花節の生成と展開 語り芸の動態史にむけて』せりか書房、2020年9月）

教員研究業績一覧

田 口 暢 之

「藤原重家の述懐歌
—『古今和歌六帖』所収歌との関連—」

(『和歌文学大系 46
古今和歌六帖 (下)』
月報、明治書院、
令和2年(2020)11月)

田 中 智 幸

【論文】

・「清代志怪小説の形成について」

『鶴見大学紀要』
(日本語・日本文学編)
第57号
2020年3月

中 川 博 夫

『柳葉和歌集』注釈稿(一)

『鶴見大学紀要』
(第一部 日本語・
日本文学編) 57
2020・3

『柳葉和歌集』注釈稿(二)

『鶴見日本文学』24
2020・3

『中書王御詠』論

『鶴見日本文学』24
2020・3

玉葉和歌集(下)

明治書院
2020・6

中世和歌論

勉誠出版
2020・11

松本文子

〔論文〕

「世之介の紙子は「了佐極の手鑑」
— 『慶安手鑑』序文を読む—

2020 令和2年3月15日
『国文鶴見』54 (77～
83頁)

〔論文〕

松本文子

「【教材作成】市河米庵手本『楽志論』」

2020 令和2年3月16日
『鶴見大学紀要』57
(第1部) (685～713頁)

【作品発表】

〔協賛出品〕

「丈夫能磨久心乃白玉者移天理徹良牟天地之
共」(村上忠順歌)

2020 令和2年2月
18日～24日 名古屋
市博物館ギャラリー
愛知教育大学書道専
攻17期生・書友会卒
展 OB協賛作品展

〔賛助出品〕

「大夫之弓上振起射都流矢乎後将見人者語繼
金」(笠朝臣金村歌、『万葉集』卷第三)

2020 令和2年3月
14日～15日 鶴見大
学会館1階センター
プラザ
鶴見大学文学部日本
文学科
第1回卒業式記念展
示(第55期書道履
修生)
(新型コロナウイルス
感染拡大防止のため
開催中止、展示延期)

本号執筆者一覧

- | | |
|-------|--------------|
| 中川博夫 | (文学部教授・国文学) |
| 田口暢之 | (文学部講師・国文学) |
| 松本文子 | (文学部教授・書道) |
| 神林尚子 | (文学部准教授・国文学) |
| 田中智幸 | (文学部教授・漢文学) |
| 遠藤佳那子 | (文学部講師・日本語学) |

前 号 目 次

窃視する読者

- 『堤中納言物語』と読者の欲望—— ……………奥村英司
『柳葉和歌集』注釈稿（一） ……………中川博夫
『古今和歌集序鈔』（小幡正信注）翻刻 ……………伊倉史人
【教材作成】市河米庵手本『楽志論』 ……………松本文子
講談と『近古実録』にみる「鬼神のお松」
——松林伯円作の継承と明治の「実録」—— ……………神林尚子
清代志怪小説の形成について ……………田中智幸
鶴見大学紀要投稿規定
〔彙 報〕 ……………教員研究業績一覧

鶴見大学紀要 第五八号

第一部 日本語・日本文学編

二〇二二年三月一〇日 印刷
二〇二二年三月一五日 発行

発行人 大山 喬史

印刷所 三美印刷株式会社

116 0013 東京都荒川区西日暮里五十一番一七

電・東京(3803)三三三二

発行所 鶴見大学

230 8501 横浜市鶴見区鶴見二一―三

電・横浜(045)二〇〇二(代)